



3月度の御書

おとごぜんごしょうそく
「乙御前御消息」
 しんきょうほうじゅうしょう
 (身軽法重抄)

御文

同じ法華経にては・

をはすれども志をかさ

ぬれば・他人よりも色

まさり利生もあるべき

なり
 (御書122ページ)

意味

同じ法華経ではあっても、信心

をさらに深めて挑戦し続けていけ

ば、他の人よりも心のかげやきが

増して、功德(利益)もはっきり

とあらわれてくるのである。

どりよく つづかなら けっか
努力し続ければ必ず結果はあらわれる

やあ！ ボクは、ライオン博士のキング君だよ。

3月は旅立ちの季節。6年生のみんな、卒業おめでとう！ 中学校でも「ししの心」を燃やして、希望を胸に前進していこうね。

1年生から5年生のみんなは来月から新しい学年だね。自分らしい目標を立てて、いろいろなことに思いっきりチャレンジしていこう！

そんな一人一人の新出発に向けて、今日もボクと御書を学ぼう！

日蓮大聖人は今回の御文で、この信心は実践する人の「志」が深くなるほど功德(利益)がはっきりとあらわれる、と教えられているよ。

「志」とは、どんなことがあっても「信心を根本に進もう！」と挑戦する強い「心」のこと。

「心」って目には見えないよね。でも、心は必ず「行動」となってあらわれる。

信心の「志」も、その人の「行動」にあらわれるんだよ。

じゃあ、それってどんな行動かな？ そう。毎日の勤行やお題目の挑戦だよ！

そして信心の「行動」で、とっても大切なのが「持続」、つまり「続けていくこと」。

お題目に挑戦しようと思っていても、「今日は眠たいなー」とか「遊びたいなー」とかって思う日もあるよね。

でもそんな時に一歩、勇気を出して少しでもお題目に挑戦する。時にはできない日が続いても、また決意して挑戦を始める。

そうやって、どんなことがあっても勤行やお題目の挑戦を続けていく中で、ボクたちの信心の「志」がどんどん強く、深くなっていくんだ。

すると自分の心も体も、ますます力強くなり、ますますかがやいていくよ。もっとがんばろうと、力も出る。そして、功德という自分らしい「勝利」や「喜び」の結果も、ますますはっきりとあらわれていくんだ。

池田先生は語られているよ。

「自分が決めたことを一生けんめい、やり続ければ、必ず成長できます。願った以上の自分自身になれます。その『やり続けるパワー』を引き出してくれるのが、お題目なのです」

さあ、日々のお題目を根本に、それぞれの目標に向かって元気いっぱい挑戦していこう！